

公表

事業所における 自己評価結果（従業者2024.8）

事業所名		療養通所介護まこと				公表日	2024年 9月 30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	1	・車いすの置き場に困っている	・床にマットを敷いて対応している ・一人1台ベットが用意されている	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	4	・欠員（休みなど）が出ると職員が休憩が取れない。特に看護職員は1時間休憩が取れない ・数は適切であるが、生活介護と同じ部屋なのでうまく対処できているか分からない ・人員が不足している ・人員が多く肺配置されている	・通常より多くの人員を配置している。 ・児童指導員・学習指導員を配置している	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	5	・空調の兼ね合いで室内の温度差がかなりある ・シンクが小さすぎる ・活動の場が少ない	・毎日清掃と消毒を行っている・	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	5	・カーテンの長さが足りないところがある	・スクリーンなどを活用する	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	4	・計画作成し定期的に評価、修正を行えている	・広く参画しているとは言えないと思う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	7	・評価表の結果を回覧して周知している。	・評価をお願いして、改善できる点は改善を図っている ・希望を伺っているが、すべてに対応できているとは思えない	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	2	・毎日に申送りや会議で意見を言える場がある	・すべての希望に対応できているわけではない	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	4	・運営推進会議にて外部委員からの評価を受けている。 ・感染ラウンドがある	・左記を把握していない職員がいる	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	14	1	・研修のチラシ等で情報収集できている。 ・事業所内研修が1回/月行われている。 ・法人研修が1回/月行われている。		
支援体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	2	・計画書がある	・定期的にまこと会議で実施している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサー	13	2	・毎回の送迎時にも、ご家族から情報を得たり、意見を伺っている。	・定期的にまこと会議で実施している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	1	・臨床心理士やリハビリ職、児童指導員が対応している。	・保育士が欠員となっており、募集を続けている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	15	0	・共有しているがすべてを常に意識して行えているとは言えない。	・すべての職種に計画見直しに参加してもらっている	

適切な支援の提供	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1		・観察したことばどの職種も記録に記入するようにしている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	2		・医療的ケアのある重度障害児が主体であるので、それに配慮して計画を立てて支援を行っている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0		・行っている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	3	・季節に合わせた行事などを行っている	・保育士が欠員となっており、募集を続けている
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	2		・個別活動が多くなっている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	1		・朝の申し送りで必要事項を確認している ・一日の配置票が毎日掲示されている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	1		・毎日、業務終了前に申送りをしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	1		・改善につなげる様話し合い、入力を行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0		・行っている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	11	1	・重度障害児が多く、身体的な介助が多くなっている	・身体以外の面にも意識して目を向けるようにしている
関係機	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	4	・自己決定が可能な児では本人が選択できるように支援している。	・自己決定が困難な児へはリアクションを見ながら関りを持っている。 ・親の意見を取り入れている
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	0	・サービス担当者会議が開催されないケースもあります。	・児童発達支援管理責任者や看護師が参加している。
	27	地域の保健・医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0	・医療的なケアが必要な利用者が多いので医療との連携は必須となっている。	・地域の会議などにも参加している
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	1	・担当者会議に学校の参加がないことがある	・書類や口頭で実施している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	2	・対象の子供がいなかった	

関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	2	・学校の実習などを行っている	・学校卒業後利用する場合は実習や申送りを受けている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	1	・療育センターと連携している	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	9	・医療ケアもあり、このような機会は持っていない	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	8	4	・医療的ケア児連絡調整会議にや支援者会議に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	1	・親とコミュニケーションを取っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	6	・家族会を再開する予定です	・様々な研修の案内を行っている
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	1	・利用時に行っている。	
保護 者 へ の 説 明 等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0	・面談を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	1	・児童発達支援管理責任者が行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	1	・希望があれば対応している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	5	・保護者会再開予定である	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0	・苦情対応体制を整えている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	4	・あまり発信できていない。	・年末年始のお休みなどの情報は文書で渡している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0	・ご両親の意向を確認している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	2		・本人の表情やリアクションから意向を読み取っている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	5		・近くの保育園と交流がある

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	0	・マニュアルは作成されており、災害等の訓練は行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	・年4回。消火器使用は月に1回。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	14	0	・定期的に確認している。	・避難時の緊急カードの見直しを毎年行っている
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	・医師の指示は全員取っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0	・計画書に記載している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0	・行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	・研修を行っている	・職場での不適切な発言がないように注意している
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	1	・不必要的拘束はしないよう対策できている ・どのような配慮が必要か、計画にも乗せており、親や家族に確認を取っている	